

あ ゆ み

～ 献血から輸血まで ～



(献血ポスターコンクール 金賞)
白山市立松任中学校 1 年 池田 優美子



石川県赤十字血液センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



令和7年度 あゆみ ～献血から輸血まで～ 発刊にあたって

日頃より、血液事業に対しまして深いご理解と温かいご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、日々献血にご協力くださっている多くの県民の皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。

石川県におきましては、令和7年度に45,306人もの皆さまに献血へご協力いただき、すべての市町において目標を達成することができました。これは、県民お一人おひとりの善意の積み重ねと、関係機関や企業・団体の皆さまのご尽力によるものであり、地域全体で

命を支える大きな力となっています。この場をお借りして、深く敬意と感謝を申し上げます。

献血とは、健康な方が自らの意思に基づき、無償で血液を提供する尊いボランティア活動です。提供された血液は、厳格な検査を経て安全性が確認された後、必要な成分ごとに製剤化され、医療機関に届けられます。現在、iPS細胞などを用いた血液製剤の人工生成に向けた研究が進められておりますが、いまだ実用段階には至っておらず、輸血医療は善意による献血によって支えられています。その意味において、献血は命をつなぐかけがえのない社会基盤であると言えます。

日本では年間約500万人の方が献血にご協力いただき、約100万人の患者さんが輸血療法を受けています。また、1日あたりおよそ3,000人の患者さんが輸血を必要としており、その医療を支えるためには日々継続的な献血が求められています。輸血が必要となる場面は、外傷や手術といった突発的なものにとどまらず、がん治療や血液疾患、慢性疾患など、継続的な医療の中で広く活用されています。実際には、一人の患者さんの治療に複数の献血者の血液が用いられることもあり、多くの善意によって一つの命が支えられています。

さらに、輸血を受ける患者さんの約85%が50歳以上であり、高齢化の進展に伴って輸血需要は今後さらに増加することが見込まれています。一方で、献血者の状況を見ますと、特に10代から30代の若年層における献血者数は減少傾向にあり、将来にわたる安定供給に課題が生じています。このような背景から、幅広い世代の皆さまに献血への理解を深めていただき、継続的なご協力をお願いすることが極めて重要となっています。

血液センターでは、こうした課題に対応するため、学校における献血セミナーや見学会の開催、企業・団体との連携による集団献血の推進、さらにはWeb会員サービス「ラブラッド」を活用した献血予約の普及など、多様な取り組みを進めています。特に若い世代に対しては、献血や命の大切さを伝える教育・啓発活動を通じて、将来につながる基盤づくりに力を入れています。

また、安全で信頼される血液の提供は、私たちに課せられた最も重要な使命です。血液は「生きた臓器」とも呼ばれ、その取り扱いには細心の注意が必要であり、有効性・安全性・適正使用の確保が不可欠です。私自身、これまで医療現場や血液製剤の安全管理に携わってきた経験を踏まえ、県民の皆さまに安心して献血にご参加いただける環境づくりと、安定した供給体制の維持に努めてまいります。

献血は、特別な人のみが行うものではなく、誰もが無理のない範囲で参加できる身近で意義のある社会貢献です。その一歩が、見知らぬ誰かの命を支え、やがて自分や大切な人の未来を守る力へとつながります。献血はまさに、人と人との思いやりをつなぐ「命のリレー」です。

本冊子では、「献血から輸血まで」の流れについて分かりやすくご紹介しています。献血がどのように医療へとつながり、患者さんのもとに届けられているのかをご理解いただくことで、献血をより身近なものとして感じていただければ幸いです。

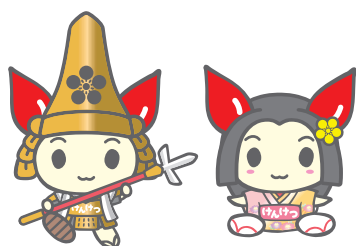
石川県の医療をこれからも安定的に支え続けていくため、皆さまの変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年7月

石川県赤十字血液センター

所 長 安 村 敏

いしかわの献血



能登 禄剛崎灯台(写真提供:石川県観光連盟)

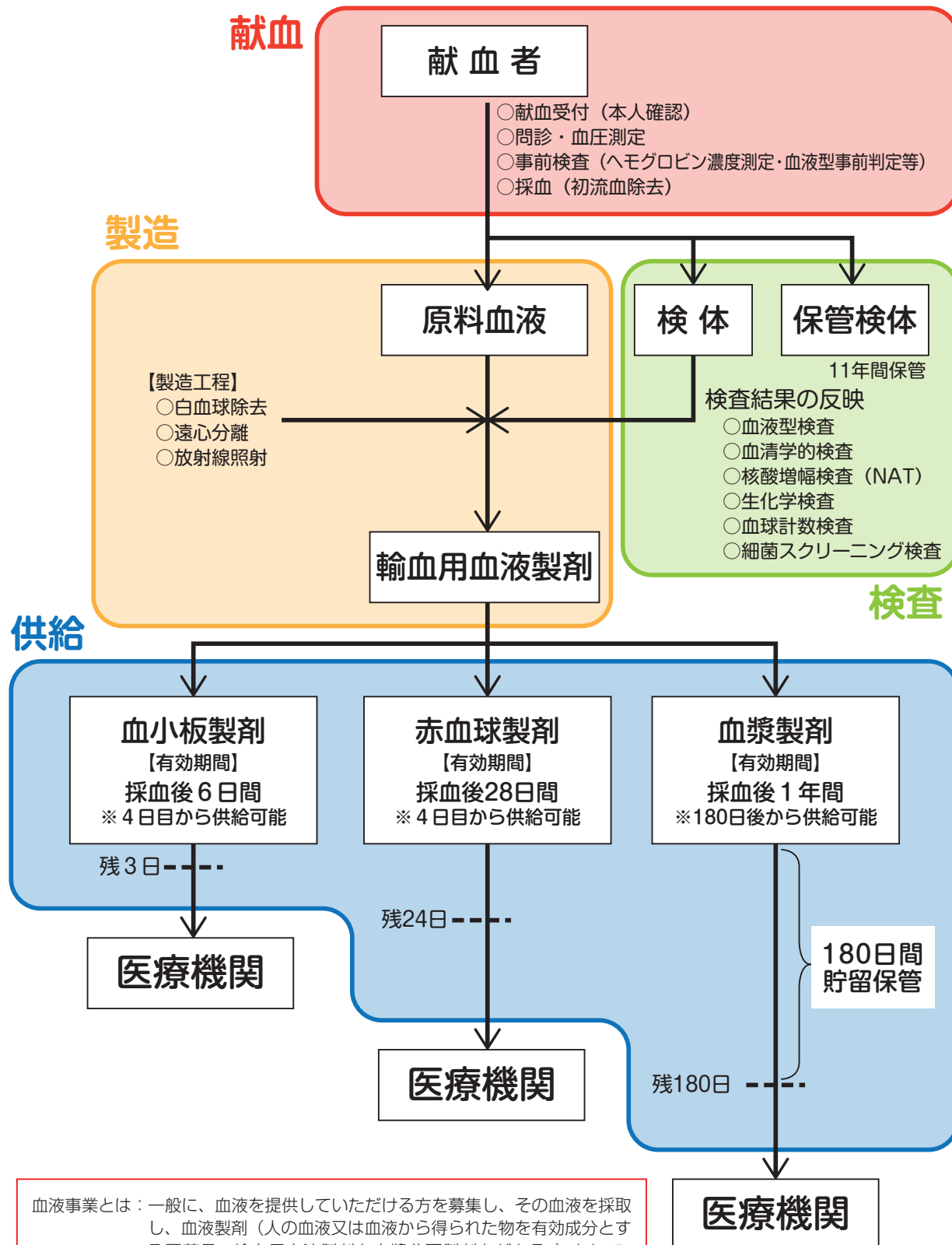
CONTENTS

献血受入れから供給まで	01
TOPICS	
・ もっと安全に！ 血小板製剤の 「細菌スクリーニング検査」がスタート	02
・ 石川県内の献血者数累計 350 万人を達成！	03
・ 献血運搬車の更新	03
献血を支える活動	04
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・ 安定的な血液の確保	06
・ 緊急時の成分献血への協力要請	06
・ 骨髄バンクドナー・栄養相談	06
・ 若年層による献血推進活動	07
献血場所の紹介	
・ 献血バス	08
・ 献血ルーム ル・キューブ	08
・ 献血ルーム くらつき	08
医薬情報活動	
・ 医療機関対応	09
・ 石川県合同輸血療法委員会	09
・ 東海北陸ブロック血液センターとの協働	09
令和7年度 献血者数・血液製剤の供給状況	
・ 献血者数	10
・ 血液製剤の供給状況	11
令和7年度 献血ポスターコンクール優秀作品	12
献血功労者・功労団体の表彰	14
石川県赤十字血液センターの沿革	15

献血受入れから供給まで



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



もっと安全に！血小板製剤の「細菌スクリーニング検査」がスタート

日本赤十字社は、患者さんへより安全な血液をお届けするため、2025年(令和7年)7月から、すべての輸血用血小板製剤を対象に、「細菌スクリーニング検査」(血液製剤中に細菌が混入していないかを培養により確認する検査)を開始しました。

■ 導入の背景：なぜ検査が必要なの？

保管温度によるリスク：出血を止める働きを持つ「血小板」は、品質を保つために20～24℃で振盪(しんとう)保存します。しかし、この温度は細菌がとても増殖しやすい環境でもあります。

これまでの安全対策：これまでも献血時の消毒を徹底し、菌が混じりやすい最初の血液を除去する「初流血除去」などの対策を行ってきましたが、細菌の混入を防ぐのは困難でした。

重い感染症を防ぐ：輸血を受ける患者さんは、病気などで体内の抵抗力が弱まっています。万が一、血小板製剤に少しでも細菌が混入していると重篤な細菌感染症を発症してしまいます。

■ イギリスでの成功をお手本に

イギリス(イングランド)では2011年から細菌スクリーニング検査を導入にあたり改良培養法(LVDS)という手法を採用し、輸血による感染トラブルや死亡事故が劇的に減少するという効果を上げています。日本赤十字社もイングランドで導入したLVDSを参考にし、新規血小板製剤を令和7年7月30日から供給を開始しました。

■ これから変わる3つのポイント

【販売名・略号】

細菌スクリーニング済み意味着「BS」が追記
(「BS」:Bacterial Screened)

【有効期間】

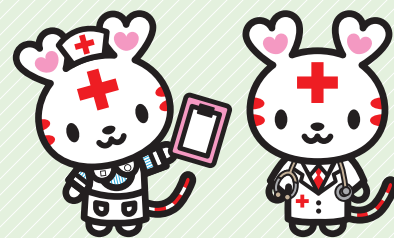
採血後4日間から**採血後6日間**に変更

【品目及び規格】

6品目20製剤から**4品目10製剤**に変更



Ir-PC-LRBS-10



■ 検査フローのイメージ



「輸血情報2503-186 新たな安全対策の導入について」より一部抜粋

石川県内の献血者数 累計350万人を達成！

祝



石川県赤十字血液センターでは、昭和40年1月の献血開始以来、たくさんの方々のご協力のおかげで献血者数累計350万人を達成しました。この節目を記念して献血ルーム「ル・キューブ」にて記念式典を開催し、こま さき だい き350万人目の献血者となった駒崎大貴さんにお米を贈呈させていただきました。長年にわたり献血にご協力いただいている皆さまに心より感謝申し上げます。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

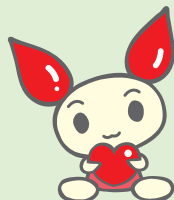


献血運搬車の更新

令和7年8月に、沖電気工業株式会社様より献血運搬車両として「ファミリアバン (MAZDA)」が寄贈されました。「ファミリアバン」は、優れた積載性と高い安全性を兼ね備えた車両となっています。今後も患者様のもとへ安心して輸血用血液製剤をお届けできるよう、日々安全運転に努めてまいります。



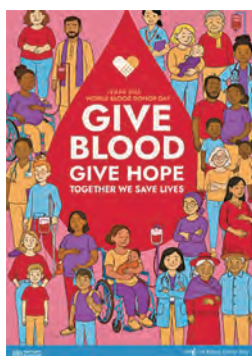
献血を支える活動



世界献血者デー

令和7年6月14日(土)

血液という「いのちを救う贈り物」を提供して下さる献血者の皆様に感謝するとともに、輸血が必要な患者さんのために献血が不可欠であることを知ってもらう日であり、世界各国で工夫を凝らした様々なイベント等が行われています。



4月↑

献血ルーム 独自のキャンペーン

●「オープン記念」キャンペーン

金沢市内2ヶ所(武蔵ヶ辻及び般若)に設置されている、二つの献血ルームでは、オープンを記念し、周年記念キャンペーンを実施。ご協力をいただいた方にグッズプレゼントのほか、感謝の意を込めて癒し体験コーナーなどを臨時で設け希望者の方々に参加いただいています。

●団体献血

部活やサークル、クラス等の仲間5人以上で献血いただいた方に清涼飲料水1ケースをプレゼントします(学生限定)。

●つづけて献血

2回目の献血を献血ルームでご協力いただいた方に記念品をプレゼントします。

●ツレケン

友達やご家族と一緒に献血ルームに来られて献血にご協力いただいた方に記念品をプレゼントします。

●WINTER献血キャンペーン

2月の献血者減少対策として、指定した期間中に献血のご協力いただいた方に記念品をプレゼント。

●バレンタインデー献血キャンペーン

2月の献血者減少対策として、2月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にチョコレートのプレゼント。

●ホワイトデー献血キャンペーン

3月の献血者減少対策として、3月14日までの指定期日に献血のご協力いただいた方にクッキーのプレゼント。

愛の血液助け合い運動

令和7年7月1日(火)~7月31日(木)

「七夕献血キャンペーン2025」

令和7年7月6日(日)

会場：アピタ松任店、
献血ルーム ル・キューブ

主催：石川県学生献血推進委員会



石川センターの



「はたちの献血」キャンペーン

令和8年1月1日(木)~2月28日(土)

献血者が減少しがちな冬期において、輸血用血液を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者をはじめとする幅広い年齢層の皆様に献血に関する理解と協力をお願いする運動です。





なぜ？なに？おしえて！献血 ～親子で学ぶ献血教室～

県内の小学生に献血について知ってもらうため、保護者と一緒に血液のはたらきについて学び、献血を



疑似体験していただくプログラムです。「血液はかせ(医師・薬剤師)」からのレクチャーや、献血バスでの模擬献血、献血運搬車や供給部門の見学などを行っています。

若年層向け献血セミナー

将来の輸血医療を支える若年層に献血の基礎知識や必要性を伝え、これからの献血協力や献血推進ボランティア活動のきっかけにしておこうと、県内の各学校に血液センター職員や学生献血推進ボランティアが伺い、献血セミナーを実施しています。

令和7年度は25校で計33回実施し、3,483名の方が聴講してくださいました。



献血広報活動



東海北陸ブロック サマー献血キャンペーン

令和7年8月17日(日)

会場：アルプラザ金沢、献血ルーム ル・キューブ
主催：石川県学生献血推進委員会

夏場の献血者が減少しがちな時期に、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが各県で献血を呼びかけるキャンペーンです。7県の学生が力を合わせて、様々な統一企画を実施し、街頭で献血を呼びかけ、多くの皆さんにご協力いただいています。



年末年始愛の血液助け合い運動

令和7年12月20日(土)～令和8年1月19日(月)

献血者の確保と年末年始の献血受入体制の強化を目指すとともに、広く県民に献血思想の普及を図る運動です。

「全国学生クリスマス献血キャンペーン2025」

令和7年12月7日(日)・14日(日)

会場：アピタ松任店、イオンモール白山、
献血ルーム ル・キューブ

主催：石川県学生献血推進委員会



石川県赤十字血液センターの主な取り組み

安定的な血液の確保

医療機関へ安定的に血液を供給し、輸血を受けられる患者さんが安心して治療を受けられるよう、輸血用の血液を十分に確保する必要があります。そのために、日本赤十字社では、献血してくださる皆さまの利便性向上を目指し、「献血Web会員サービス『ラブラッド』」を運営し、会員登録をお願いしています。

会員登録すると専用サイトから献血の事前予約ができるほか、これまで受付でしかできなかった問診に回答でき、献血後の検査結果をWebで閲覧することも可能になりました。また、会員限定のイベントへのご招待やポイントで限定の記念品と交換できたりするなど各種特典があります。

令和4年9月には、新たに『ラブラッド』のスマホアプリが誕生しました。従来の会員特典に加え、スマートフォンのみで献血受付ができるなど、さらに便利になりました。

その他にも、様々な患者さんの輸血治療に柔軟に対応するため、Rh(－)の方で血液センターからの直接要請にご承諾いただける方に、石川県赤十字血液センター「さちしお会」にご登録をお願いしています。



ラブラッド

Love Blood

献血Web会員サービス『ラブラッド』会員数（令和8年3月末現在）

32,300名

緊急時の成分献血への協力要請

輸血が必要な患者さんに血液をお届けするため、医療機関からの要請にフレキシブルに対応していますが、不足が生じる恐れがある場合などには、あらかじめご登録いただいた皆さま（ラブラッド会員、さちしお会会員等）に電話等でご協力をお願いするほか、献血協力企業・団体の皆様にも急遽ご協力をお願いすることがあります。

皆さまの献血へのご理解とご協力により、日々の輸血医療が支えられています。

骨髄バンクドナー・栄養相談



原則毎月第2土曜日 14時～16時 ●

栄養相談

石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

骨髄バンクドナー登録

● 毎週日曜日 13時50分～17時

ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが、骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。





若年層による献血推進活動

石川県学生献血推進委員会

●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に、所属校の枠を超えて献血推進に取り組もうと、金沢経済大学（現 金沢星稜大学）の学生が他大学の学生にも協力を呼びかけ、県内14の大学・短期大学等の賛同を得て発足した組織です。

年2回の総会や、委員会が主催する各種献血キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）など、同世代の若者を中心に広く県民の皆さまに献血の必要性をPRし、協力を呼びかけています。



総会



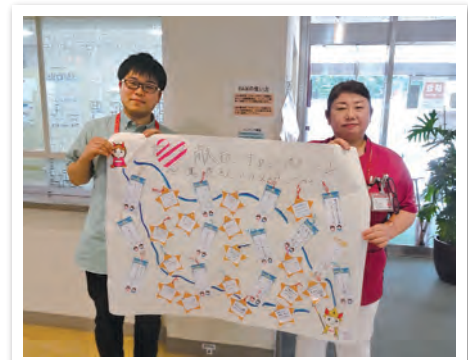
学生献血キャンペーン

●石川県学生献血推進委員会 主な活動（令和7年度）

- | | |
|-----|--|
| 5月 | 第1回石川県学生献血推進委員会総会 |
| 6月 | 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第1回総会 |
| 7月 | 七夕献血キャンペーン2025 |
| 8月 | 東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン2025
全国学生献血推進代表者会議 |
| 9月 | 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第2回総会 |
| 12月 | 全国学生クリスマス献血キャンペーン2025 |
| 2月 | 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会第3回総会 |
| 2月 | 第2回石川県学生献血推進委員会総会 |



親子献血教室 運営ボランティア



献血者からのメッセージを医療機関に贈呈

石川県学生献血推進連絡会

石川県学生献血推進委員会および委員会に参加する学生献血推進ボランティアの活動をサポートし、若者へのさらなる献血推進を行うために、ご賛同いただいた大学・短期大学等の教職員の方々と、石川県学生献血推進アドバイザー、石川県赤十字血液センターによって構成しています。

献血場所の紹介



献血バス



石川県全域の市役所・町役場、企業・団体、学校、ショッピングセンターなどに伺って、皆さまに献血をお願いしています。当センターの献血バスは3台あり、毎月約30会場に赴いて献血を実施しています。

献血バスでは400mL献血等の全血献血を受付しています。皆様の地域で献血バスを見かけたら、ぜひご協力ください。



● 令和7年度 献血バスの献血者数

全血献血		献血バス 計
400mL献血	200mL献血	
19,361人	906人	20,267人

献血ルーム ル・キューブ

「献血ルーム ル・キューブ」は、開設12周年を迎えました。金沢市内の中心部の好立地にあることから、観光客の方や学生さんたちなど幅広く来られます。近年のコロナ禍や能登半島地震で環境が変化いたしました。皆様のご協力のおかげで患者さんに滞りなく輸血用製剤を届けることができました。これからも、スタッフ一同皆様に快適で安心して献血にご協力いただけるよう努めてまいります。



採血室



待合室



どうぞこちらへ。



入口



● 令和7年度 献血ルーム ル・キューブの献血者数

全血献血		成分献血		ル・キューブ 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
3,882人	518人	2,806人	5,245人	12,451人

献血ルーム くらつき



平成28年(2016年)10月、石川県赤十字血液センター県庁前出張所/(愛称)「献血ルーム くらつき」に名称を変更して、献血の受け入れを開始し、開設9周年を迎えました。

当献血ルームは、石川県庁に近い交通の利便性の良い場所にあり、十分な駐車スペースを確保して、皆様のお越しをお待ちしております。

なお、企業・団体様より、献血協力依頼があれば送迎もいたします。

● 令和7年度 献血ルーム くらつきの献血者数

全血献血		成分献血		くらつき 計
400mL献血	200mL献血	血小板成分献血	血漿成分献血	
3,803人	191人	3,990人	4,604人	12,588人

医薬情報活動



医療機関対応

医薬情報担当者が県内医療機関輸血担当部門に出向き、輸血実施に関する情報収集や輸血に関する情報提供などを行っています。その一環として、輸血用血液製剤の取扱いや輸血実施の注意点など、医療機関からのご要望に応じた説明会を随時開催しています。

また、県内医療機関輸血担当者会議を開催し、最新情報の提供や輸血関連報告のほか、各医療機関輸血担当者からのご質問・ご要望などを伺うことで、医療機関と血液センターの相互理解を深め、より円滑な医療機関対応を目指しています。



石川県合同輸血療法委員会

石川県合同輸血療法委員会は、石川県内における安全かつ適正な血液製剤の使用を推進することにより輸血療法の向上を図ることを目的として、平成23年5月に県の「血液製剤使用適正化協議会」と石川県赤十字血液センターの「輸血懇話会」を発展的に改組し、県内医療機関、石川県赤十字血液センター、行政が一体となった委員会として発足しました。

各実行委員会では、それぞれのテーマのもと、各種調査や研修会、広報活動、職種別交流会などを実施し、石川県における輸血医療の推進及び安全な輸血療法の実施のために様々な角度から取り組んでいます。

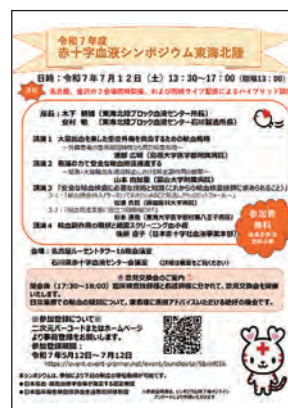
また、夏季には金沢講演会を開催し、実行委員会活動報告のほか、最新の輸血関連トピックに精通した外部講師を招いて講演会を開催し、県内医療機関の多くの皆様にご参加いただいています。



東海北陸ブロック血液センターとの協働

平成24年から、全国を7つのブロック単位で運営する広域事業運営体制に移行し、それ以降東海北陸ブロック血液センター及び管内血液センターと協働し、輸血用血液製剤の安定供給に努めています。

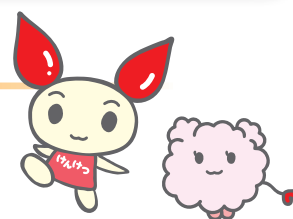
その一環として、東海北陸ブロック血液センターが主催し毎年名古屋市で開催している「赤十字血液シンポジウム東海北陸」は、平成28年度からは遠隔地でのサテライト開催を始めました。石川県赤十字血液センターも金沢会場として多くの県内医療機関の皆様にご参加いただいています。広域での取り組みにより、より多くの情報提供を行うとともに、他県医療機関の皆様との交流や情報交換の場として活用していただいています。



令和7年度 献血者数・血液製剤の供給状況



令和7年度 献血者数：45,306人



石川県

● 種類別献血率の推移

種類別	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
200mL 献血	1,344人	3.0%	1,409人	3.1%	1,425人	3.2%	1,688人	3.7%	1,615人	3.6%
400mL 献血	26,691人	59.9%	26,716人	59.9%	26,316人	59.3%	27,136人	59.2%	27,046人	59.7%
成分 献 血	16,526人	37.1%	16,495人	37.0%	16,604人	37.4%	17,016人	37.1%	16,645人	36.7%
合 計	44,561人	100%	44,620人	100%	44,345人	100%	45,840人	100%	45,306人	100%

● 年代別献血率の推移

年齢別	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)
20歳未満	1,937人	4.3%	2,077人	4.6%	2,207人	5.0%	2,287人	5.0%	2,269人	5.0%
20～29歳	6,054人	13.6%	6,138人	13.8%	5,952人	13.4%	6,305人	13.8%	6,007人	13.3%
30～39歳	6,806人	15.3%	6,281人	14.1%	5,878人	13.3%	5,976人	13.0%	5,908人	13.0%
40～49歳	12,018人	27.0%	11,288人	25.3%	10,665人	24.1%	10,286人	22.4%	9,437人	20.8%
50～59歳	12,801人	28.7%	13,474人	30.2%	13,952人	31.5%	14,658人	32.0%	14,634人	32.3%
60歳以上	4,945人	11.1%	5,362人	12.0%	5,691人	12.8%	6,328人	13.8%	7,051人	15.6%
合 計	44,561人	100%	44,620人	100%	44,345人	100%	45,840人	100%	45,306人	100%

● 男女別献血率

性別	令和7年度	
	人 数	比率 (%)
男	32,561人	71.9%
女	12,745人	28.1%
計	45,306人	100%

● 施設別献血率

施設	令和7年度	
	人 数	比率 (%)
献血ルームくらつき	12,588人	27.8%
献血ルームルキューブ	12,451人	27.5%
移動献血車	20,267人	44.7%
合 計	45,306人	100%

● 職業別献血率

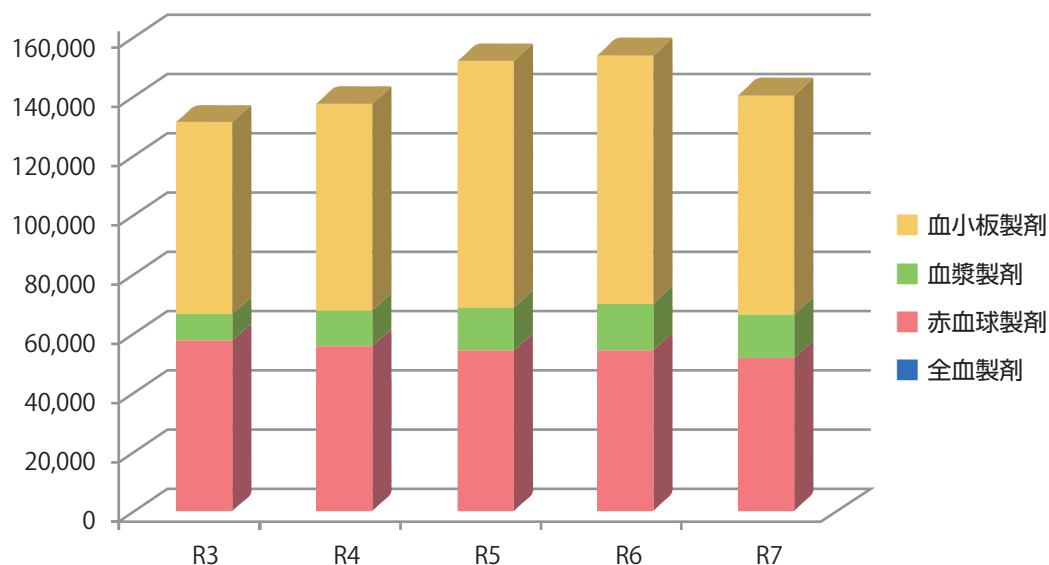
職業別	令和7年度	
	人 数	比率 (%)
公 務 員	6,971人	15.4%
会 社 員	26,766人	59.1%
学 生	4,169人	9.2%
そ の 他	7,400人	16.3%
合 計	45,306人	100%

● 献血できなかった割合

不適格内容	令和7年度	
	人 数	比率 (%)
血色素不足	1,759人	39.6%
血圧異常	339人	7.6%
服 薬	651人	14.7%
問診該当①	157人	3.5%
問診該当②	661人	14.9%
事前検査	228人	5.1%
そ の 他	645人	14.5%
合 計	4,440人	100%

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

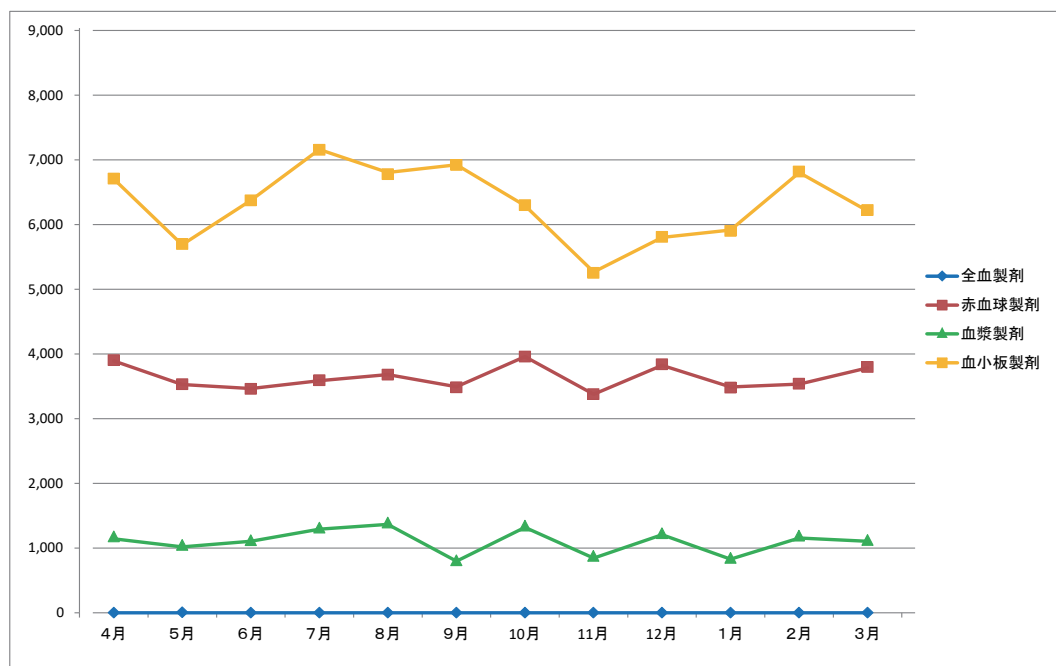


(単位)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全血製剤	0	0	0	0	0
赤血球製剤	44,670	45,859	45,286	47,553	44,074
血漿製剤	15,486	13,617	15,091	16,057	14,260
血小板製剤	67,470	73,360	82,370	84,260	76,295
計	127,626	132,836	142,747	147,870	134,629

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(令和7年度月別)



(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球製剤	3,943	3,596	3,465	3,699	3,705	3,488	3,964	3,379	3,841	3,565	3,626	3,803	44,074
血漿製剤	1,172	1,082	1,109	1,394	1,443	889	1,478	980	1,322	978	1,233	1,180	14,260
血小板製剤	6,775	5,755	6,365	7,175	6,820	6,900	6,340	5,225	5,815	5,990	6,885	6,250	76,295
計	11,890	10,433	10,939	12,268	11,968	11,277	11,782	9,584	10,978	10,533	11,744	11,233	134,629

令和7年度 献血ポスターコンクール優秀作品

令和7年度は石川県内12校、77名の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞5名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて、令和8年1月7日(水)から20日(火)まで展示しました。



白山市立松任中学校1年
池田 優美子



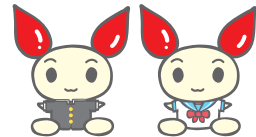
白山市立松任中学校2年
竹内 彩乃



白山市立松任中学校1年
大濱 莉愛



珠洲市立緑丘中学校3年
船橋 安寿



小松市立南部中学校2年
村井 心結



小松市立松東みどり学園7年
寺地 絃平



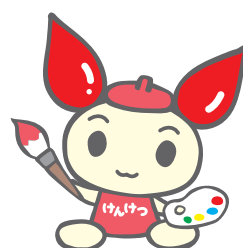
白山市立松任中学校2年
長町 恵佳



白山市立松任中学校2年
細川 颯希



金沢市立長田中学校1年
濱松 柊花



献血功労者・功労団体の表彰



日時：令和7年7月23日(水) 場所：石川県庁4階特別会議室

厚生労働大臣表彰状（1団体）

北陸電力株式会社 七尾支店
北陸電力送配電株式会社 石川支店
能登復興推進室 七尾配電部

厚生労働大臣感謝状（5団体）

石川県公立大学法人石川県立大学
株式会社 日本パーツセンター
ケンブリッジフィルターコーポレーション
株式会社 金沢工場
新緑会（金沢中警察署）
若鮎会（金沢西警察署）

石川県知事感謝状贈呈

（1）献血成績優良団体（4団体）

医療法人社団映寿会みらい病院
医療法人社団光仁会木島病院
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
日本ガイシ株式会社 石川工場

（2）献血推進功労者（1団体）

金沢星稜大学学生赤十字奉仕団

（3）献血成績優良者（89名）

（代表）小林 正明

（4）献血目標達成市町（12市町）

小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、
能美市、野々市市、川北町、宝達志水町、
志賀町、中能登町、穴水町

日本赤十字社有功章（3団体）

〔銀色〕

加賀製紙株式会社
金沢尾山ライオンズクラブ

北陸鉄道株式会社

日本赤十字社石川県支部長感謝状（9団体）

〔金色枠〕

能美市壮年団
米沢電機工事株式会社

〔銀色枠〕

石川県神道青年会
EIZO株式会社

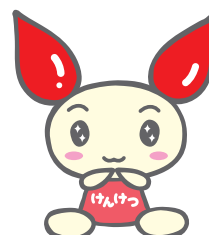
エヌジーケー・セラミックデバイス株式会社
石川工場

株式会社 アイ・オー・データ機器

株式会社 宗重商店

はくさん信用金庫

宝達志水町赤十字奉仕団



石川県赤十字血液センターの沿革



昭和40年 1 月	移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始 (財)北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託 第1回集団献血(美川町青年団36名)
40年 3 月	第1回石川県献血推進協議会を開催
41年 7 月	輪島市において献血者1万人目達成
9 月	第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館) Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
42年 9 月	赤十字血液センターに採血所を設置 都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
43年 3 月	小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
6 月	A B O式血液型無料判定を実施
8 月	穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
9 月	赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
45年 1 月	七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
9 月	美川町において献血者10万人目達成
46年 4 月	赤十字血液センターが(財)北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
7 月	第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
51年 5 月	血液成分製剤の製造を開始
55年 3 月	金沢市において献血者50万人目達成
9 月	赤十字血液センターを金沢市南新保町地内 (現県庁前出張所所在地)に新築移転
57年 4 月	血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始 献血手帳の供給記録欄の廃止
58年10月	穴水出張所(採血所)廃止
11月	献血者登録制度発足
61年 3 月	赤十字血液センター増改築完成
4 月	400mL献血、成分献血を開始
6 月	コンピューターシステムの導入
11月	片町出張所「献血ルームラブロ」を設置 (開設時全血献血4ベッド ⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド) H I V-1抗体検査、H T L V-1抗体検査を開始
12月	金沢市において献血者100万人目達成 バーコードラベルによるエイズチェック開始
平成元年 4 月	小松出張所(採血所)廃止
7 月	出張での成分献血開始(事業所に成分採血装置を持込み)
11月	H C V抗体検査、H B c抗体検査を開始
2 年 1 月	七尾出張所(採血所)廃止



赤十字血液センター 新築移転



献血ルームラブロ

2年10月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
3年1月	赤十字血液センター採血所の機能強化(土曜日献血の実施)
9月	小松市において献血者150万人目達成
11月	成分献血に対応した大型移動献血車を購入
4年3月	献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
6年1月	第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
9月	第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
7年4月	赤血球MAPの有効期限短縮(42日間から21日間へ短縮)
8年3月	赤十字血液センターの増改築工事完成(新館建設)
9年11月	献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
10年5月	第1回石川県輸血懇話会の開催
6月	放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
11月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化 (成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
11年10月	全国的にNAT(核酸増幅検査)を導入【500検体プール】 (検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
12年2月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
13年5月	赤十字血液センター・イントラネット導入
14年3月	赤十字血液センター・ホームページ開設
15年1月	赤十字血液センター採血所の業務拡大(日・祝日を除く毎日開設)
3月	片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化(心電図室新設)
7月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
16年5月	第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
8月	NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
10月	日赤本社に血液事業本部を設置 検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
17年2月	宝くじ協会より移動献血車さちしお5号(大型)寄贈 金沢市において献血者250万人目達成
6月	英国滞在歴に関する献血制限の実施
12月	片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更(水曜日⇒土曜日)
平成18年3月	タッチパネルシステムを固定施設に導入 複数回献血クラブを設置
4月	富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
10月	福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約 献血手帳から献血カードへ切替 献血者健康被害救済制度を開始
19年1月	全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
11月	血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
20年5月	化学発光酵素免疫法(CLEIA法)検査機器の導入完了 赤十字血液センター・ホームページ更新

21年 3 月	製剤施設移転拡張（本館2階⇒新館3階）の工事完成 糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）のサービス通知開始
21年 4 月	富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
7 月	供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
22年 1 月	宝くじ協会より移動献血車さちしお2号（中型）寄贈 1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
3 月	血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入 （赤十字血液センター採血所・片町出張所）
23年 4 月	石川県合同輸血療法委員会設立（県・血液センター・医療機関） 400mL全血献血が18歳から17歳（男性のみ）に引下げ 血小板成分献血が54歳から69歳（男性のみ）に引上げ
9 月	赤十字血液センターの移転用地を取得（金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡）
24年 4 月	血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制（広域的な経営体制及び需給管理体制）に移行 （北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属） 石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離 ・ 赤十字血液センターの業務 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営 ・ 東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
5 月	多目的検診車1台を導入
8 月	B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更（HBV感染既往血液への更なる安全対策）
10月	シャーガス病の安全対策の実施 片町出張所「献血ルームラプロ」献血者50万人目達成
平成25年 1 月	「献血の同意説明書」の導入
10月	日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に 国から指定を受ける
26年 2 月	赤十字血液センター・ホームページ更新（スマートフォン・タブレットに対応） 赤十字血液センター・イントラネット変更（本部整備ネットワークに加入）
3 月	献血ルーム移転（片町出張所「献血ルーム ラプロ」から武蔵ヶ辻出張所 「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始） 石川製造所の検査部門と献血者登録部門の 一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約
4 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行
6 月	血液事業情報システムを導入（電子カルテ化）
8 月	個別NAT（核酸増幅検査）を導入【20検体→1検体】 （検査施設8ヶ所：北海道、東北、関東甲信越、 東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック血液センター および関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所）
9 月	石川県における献血者300万人達成



ル・キューブオープン

27年 1 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成	
11月	石川県赤十字血液センター地鎮祭（移転建設工事開始） 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成 血小板成分献血のPC分割開始	
28年 4 月	ALT製品除外基準の変更 【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】	
10月	赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置 （全血献血2ベッド、成分献血8ベッド）	
29年 3 月	成分採血の血漿採取量の上限が600mL以下に変更	
10月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者1万人達成	
30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用を開始	藤江移転
令和元年 7 月	第55回献血運動推進全国大会が石川県で開催（石川県立音楽堂）	
令和 2 年 2 月	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、献血受入時対応を一部変更	
8 月	E型肝炎検査（HEV NAT）導入	
9 月	血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められる 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更	
11月	献血者顕彰規程の改正により、記念品の選択制を導入 問診におけるがんの問診判断基準緩和	
令和 3 年 2 月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 第一次改修工事 （受付、問診室、事前検査室、待合ロビー、トイレ）	
3 月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 献血者5万人達成	
令和 4 年 2 月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」 第二次改修工事 （採血室、心電図室、救護室） 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者10万人達成	
9 月	「ラブラッドアプリ」導入	
令和 5 年 3 月	赤血球製剤の有効期間延長（採血後21日間から採血後28日間へ延長）	
5 月	全献血希望者に対して体重測定を開始（移動採血は9月から開始） 新型コロナウイルス感染症が5類へ変更されたことに伴い、各種対応が変更	
12月	新型コロナウイルス感染症既往者の献血制限が変更（4週間から2週間へ）	
令和 6 年 1 月 1 日	令和6年能登半島地震	
3 月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」10周年	
令和 7 年 3 月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者10万人達成	
7 月	細菌スクリーニング検査導入	
12月	石川県における献血者 350 万人達成	
令和 8 年 1 月	献血カード・献血手帳の新規発行および更新を終了、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」 へ献血記録等の機能を集約 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者15万人達成	



献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909

金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階

TEL(076)220-1655 FAX(076)220-1654



定休日 月曜日(祝日の場合は開設)

受付時間 ● 400mL・200mL献血
10:00~12:30/13:50~18:00
● 成分献血
10:00~12:00/13:50~17:00

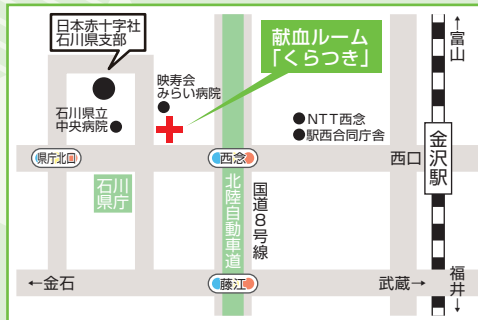


献血ルーム くらつき

〒920-8201

金沢市鞍月東1丁目1番地(石川県庁前)

TEL(076)237-3745 FAX(076)237-5565



定休日 日曜日・祝日

受付時間 月曜日から金曜日
● 400mL・200mL献血
9:00~11:40/13:00~16:45
● 成分献血
9:00~11:00/13:00~16:00
土曜日
● 400mL・200mL献血
8:30~11:40/13:00~16:15
● 成分献血
8:30~11:00/13:00~15:30

編集・発行 石川県赤十字血液センター

〒920-0345 金沢市藤江北4丁目445番地
TEL 076-254-6300(代表) FAX 076-254-6427
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/ishikawa/>

